

平成25年度当初予算案等における主要関連項目

番号	事業名	事業費 〔単位：千円〕	事業概要
1	次世代エネルギー導入促進事業支援業務委託	25,000	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関連事業者間の事業調整及びマッチング支援 ○ 補助金など国の施策等の情報収集・獲得支援 ○ ファンド組織やSPC(特別目的会社)を設立する場合の業務支援 ○ 行動計画の進捗管理及びPDCAサイクルによる評価制度の構築支援 ○ エネルギー教育やPR活動のためのパンフレット作成、媒体の活用
2	地球にやさしい環境整備補助金	48,200	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住宅用太陽光発電設備：最大出力1kW当たり4万円 上限額16万円 ○ 電気自動車・PHV車：国の補助額の3分の1 上限額30万円 ○ 電動アシスト自転車：本体購入価格の3分の1 上限額3万円 ○ 家庭用燃料電池：対象設備1件につき20万円 ○ 電気自動車等充電設備：本体購入費・設置工事費の3分の1 上限額 急速50万円 普通15万円
3	甌島EV(電気自動車)レンタカー導入実証事業	16,523	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者から電気自動車に係る様々なデータ収集を行い、将来的なエコアイランド化に向けた検討材料とするもので、市公用車としても活用するもの ○ 運転時間、走行距離、走行履歴等の定量的データの収集 ○ 利用者の感想等の定性的データの収集
4	スマートハウス(モデル)実証事業	45,000	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市街地部にある市有地に創蓄省エネが体感できるスマートハウスを建設し、市内外の見学者に開放して意識啓発・導入促進を図るもの ○ 基本設計、実施設計、新築工事、植栽工事、外構工事 ○ 太陽光発電設備、燃料電池、HEMS等の導入
5	川内駅ゼロエミッション化検討事業	15,000	<ul style="list-style-type: none"> ○ CO2排出をゼロとする「ゼロエミッション川内駅」の整備の検討 ○ 市民及び観光客に対する憩いの場の空間づくりの検討
6	総合運動公園防災機能強化事業 太陽光発電設備等包括的リース料	40,000	<ul style="list-style-type: none"> ○ 太陽光発電設備(670KW、一般家庭約200世帯分、全量売電用630KW、自家消費用40KW)を導入 ○ 停電時に売電用の太陽光発電設備から同施設内に電力を供給できる仕組みを構築 ○ 防災機能の強化策として、電気供給が停止した場合の緊急的な供給電源として電気自動車を導入した蓄電機能を確保
7	超小型モビリティ導入実証事業 (3月補正予算：繰越明許費)	34,923	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市・レンタカー業者(シェア)、地区コミ、観光協会、市民モニター等による実証実験を通じて、市民生活の利便性向上を図るとともに、島のブランド向上とエコアイランド化に向け各種データ等の収集を行うもの ○ 運転時間、走行距離、走行履歴等の定量的データの収集 ○ 利用者の感想等の定性的データの収集
8	川内港シャトルバス等購入事業 (3月補正予算：繰越明許費) 【商工振興課予算】	103,000	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成26年春の新高速船を就航に伴い、川内駅～川内港間にシャトルバスを運行 ○ バスは電気バスとし、併せて急速充電器も導入 ○ 非常時には総合運動公園防災機能強化事業に係る緊急的な供給電源としても活用 ○ 運行データ、電力消費データ等の利用により、客数や外的要因(天候、気温等)と連動した電力消費データの活用
9	次世代エネルギーシンポジウム運営業務委託 次世代エネルギーフェア運営業務委託	2,800	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民等への普及・啓発及び市内外への情報発信
合 計		330,446	うち川内港シャトルバス等購入事業103,000千円は商工振興課予算

★ビジョン・行動計画に合致した主な先行事業の取組(H24・H25)★

1. 次世代エネルギー導入促進支援業務委託

※ビジョン・行動計画に基づく具体的な事業を着実に推進するとともに、職員の事業構築及び推進能力の向上を図る。



2. 地球にやさしい環境整備補助金

※太陽光、EV、PHV、電動アシスト自転車に加え、「燃料電池」「電気自動車等充電器」についても補助金を拡充する。(H25年度～2種類拡充)



3. 甌島EVレンタカー導入実証事業

※将来的なエコアイランド化に向けて、電気自動車4台と充電施設を整備し、レンタカーと公用車シェアして様々なテーター収集を行う。



7. 超小型モビリティ導入実証事業

※市・レンタカー会社・地区コミヤ、市民モニター等による実証実験を通じて、市民の利便性向上と甌島の魅力アップとエコアイランド化に向け実証実験を行う。



4. スマートハウス(モデル)実証事業

※エネルギーの「創る」「蓄める」「省エネ」を体感できるスマートハウスを建設し、市内外の見学者に開放して意識啓発を図る。



5. 川内駅ゼロエミッション化検討事業

※川内駅+自由通路を活用し、エネルギーのまち薩摩川内市のランドマークとしてふさわしい市民・観光客の憩いの場づくりの可能性を探る。



至る 博多方面 ↑



九州新幹線

新エネルギー対策課関係予算

らせん水車導入実証事業



6. 総合運動公園防災機能強化事業

※防災機能強化策として、電気供給が停止した場合の、太陽光発電からの自立運転による供給と、緊急電源として電気自動車を導入した蓄電機能を確保する。



【関連事業】 商工振興課予算

8. 川内港シャトルバス等購入事業

(川内港 ⇄ 川内駅)

※平成26年春就航の新高速船導入に伴い、川内駅～川内港間にシャトルバス(電気バス)を運行する。(急速充電器も整備)
※非常時には緊急電源として活用する。

9. その他

- ①次世代エネルギーシンポジウム運営業務委託
- ②次世代エネルギーフェア運営業務委託

スマートグリッド実証事業との連携

川内駅

至る 鹿児島中央駅

